サルコペニア

1989 年に提唱された加齢にともなう筋肉量の減少をさす概念。
2010 年に以下のように定義された。
「進行性、全身性に認める筋肉量減少と筋力低下であり、身体機能障害、ＱＯＬ低下、死のリスクをともなう。」

加齢以外の要因の筋力低下や筋肉量低下をミオペニア。
加齢による筋力低下をダイナペニア。（筋肉量減少なし）

老年歯科医学用語辞典第３版より